

はりま 第二回 桜シンポジウム

桜が咲きほころぶ美しい播磨の山里を目指して・・・

harima
SAKURA
symposium
2022

「桜は人で咲くー」といわれるように、人々と深い関わりのある樹木です。しかし近年、手入れ不足のために瀕死状態の桜をたくさん見かけます。

今回のシンポジウムの基調講演をお願いした樹木医の河合浩彦さんは、長年にわたり桜の保全・育成の業務に携われ、多くの手法と技術を確立されました。

私たちは特定非営利活動法人兵庫県樹木医会の河合理事長を始め、樹木医の皆さんからその高度な知識や技術を惜しみなく伝授していただいています。

今回の「はりま桜シンポジウム」がご縁で皆さまと繋がり、播磨の各地で桜の保全・育成活動が広がっていくことを願っています。

日時：2022年3月26日（土）13:00～16:00

会場：神河町中央公民館 グ린デルホール（神河町役場内）

兵庫県神崎郡神河町寺前 64 番地・JR 播但線寺前駅より徒歩5分

※参加定員：200名・申し込みは、下記のホームページからお願いいたします。

- 基調講演 演題「枝と根っこをバッサリ・・・！ 樹木医が語る桜の育て方」
講師：特定非営利活動法人兵庫県樹木医会 理事長・樹木医 河合 浩彦 氏
- 活動の発表：「ソメイヨシノの樹勢回復治療に関わって感じたこと」
神河町在住 緑のサポーター 吉岡 一 氏
- 事業計画の発表：「姫路城の桜の再生を目指した桜の養成講座の開催」

主催：はりま桜の名所づくり連絡協議会

〒670-0028 姫路市岩端町122番地1 フィールトレイン107号室（NPO 法人スローソサエティ内）

Tel：090-3615-2996 Fax：079-297-4812（事務局 三山） E-mail：miyama@tiikisaisei.or.jp

共催：NPO 法人スローソサエティ・一般社団法人地域再生研究所

協賛：特定非営利活動法人兵庫県樹木医会

後援：中播磨県民センター・西播磨県民局・神戸新聞社・一般財団法人姫路市まちづくり振興機構・姫路市・神河町・市川町・福崎町・たつの市・宍粟市・相生市・赤穂市・太子町・上郡町・佐用町

※この事業は「ひょうごボランティア基金・地域づくり活動NPO事業助成金」を受けて実施しています。



はりま桜の名所づくり連絡協議会
ホームページ

harima SAKURA symposium

「はりま桜の名所づくり連絡協議会」は、播磨をこよなく愛する人々の集まりです。

日本各地の桜についていわれていることですが、人の手によって植えられた桜は普段から目を配りながら手入れをすることが大切です。私たちは兵庫県樹木医会の諸先生のご指導のもとで、播磨地域の皆さんと連携しながら、「植えて終わり」ではなく「植えて育てる」を合言葉に幼・小・中・高校生にもこの活動への参加を呼びかけ、桜の成長と共に播磨の発展に寄与することが出来る人材を育てます。

また、この活動を通して自然に触れ合うことで森林がかかえている問題点に気づき、「自然豊かな森林は大きなダム」といわれているように、針葉樹と広葉樹のバランスのとれた保水力のある本来の自然林の姿に少しでも戻して、近年全国規模で発生している豪雨による洪水災害に耐えることが出来る里山を目指します。

● 基調講演 題目：「枝と根っこをバツサリ・・・！ 樹木医が語る桜の育て方」

河合 浩彦 (かわいひろひこ) 氏 特定非営利活動法人兵庫県樹木医会 理事長・株式会社対馬造園店に54年間勤務、現顧問。



昭和18年(1943年)山口県生まれ。4歳のときに父親が買って来た桃の種を植え、芽が出るまで毎日観察をしながら育てる。その樹が7年後に実を付けたことがきっかけになり、中学生で植木屋になると決心。1967年東京農業大学卒業。米国で造園技術を学び、神戸市内の造園会社に就職。1981年頃から大木移植や巨樹・巨木の治療に関わる。1991年に資格認定が始まった樹木医の資格を1993年に取得し、神戸市内で初めての樹木医となる。桜の育成に関しては青森県弘前公園でソメイヨシノの古木再生法を独自で学び、王子動物園の桜を再生する為の主幹新旧切り替え剪定や深植え対策をする。その成果を「王子公園方式」と称して各地で桜の育成・普及活動に努めると共にその知識と経験を後進に伝えることにも力を入れている。

● 特定非営利活動法人兵庫県樹木医会の活動



平成6年、任意団体「兵庫県樹木医会」を結成し樹木医活動を開始。同27年「兵庫県樹木医会」をNPO法人として新たな活動を開始。樹木の治療に留まらず、健全な樹木育成の為に各地で研修会を開催。また「各種講演会」の開催による一般の方への知識と技術普及にも努める。「明石公園桜守講習会・明石公園桜守ボランティア」や神戸市西区「桜が丘自治会桜講演会・桜守グループ」など多方面で桜の育成の指導をしている。(画像は、樹木医会専任講師による樹幹内部腐朽空洞診断の様子)

● 活動発表：「ソメイヨシノの樹勢回復治療に関わって感じたこと」

吉岡 一 (よしおか はじめ) 氏 特定非営利活動法人兵庫県樹木医会賛助会員、一般財団法人：日本緑化センター 緑のサポーター(登録番号1382号)



昭和23年神戸町生まれ、神戸町在住。平成27年淡路景観園芸学校「まちづくりガーデナーコース」：本科コース修了、平成29年明石公園「桜守ボランティア：緑サポーター養成講座」修了、平成30年度より明石公園の桜守ボランティアとして、公園内約1,500本の桜の枯れ枝及びてんぐ巣病害枝除去・根茎の保護、土壌改良・萌芽枝の手入れ・主幹治療などによる樹勢回復活動などに関わる。令和2年より「わかさっこ桜守プロジェクト」ボランティアとして明石市立和坂小学校環境学習にて桜の樹勢回復の治療に参加する。そして今までの経験を地元で活かすために神戸町のソメイヨシノの樹勢回復事業にも取り組み、令和2年11月21日に上岩区小田川沿い、令和3年2月21日に鍛冶中央集会所に於いて桜の樹勢回復治療の事業を実施する。今後もこの活動を続けていく予定です。その他にも神戸町内の桜及び巨樹・巨木の簡易樹木診断を兵庫県樹木医会の先生方と一緒に取り組んでいる。

● 私たちの今後の活動計画

- ・ 国宝姫路城の桜の再生を目指して現状調査を開始すると同時に、手柄山中央公園一帯で特定非営利活動法人兵庫県樹木医会の先生方の協力で桜の育成講習会を定期的に開催します。
- ・ 西播磨地域の山桜の保全活動のための現状調査をします。

● 会長：米谷 啓和 (こめたにひろかず)



NPO法人スローソサエティ理事長・米谷紙管製造株式会社代表取締役社長

昭和39年、姫路市生まれ。東京大学文学部卒業。株式会社P H P研究所で書籍編集者を経て、米谷紙管製造株式会社に入社。平成14年社団法人姫路青年会議所理事長。平成16年「多様なつながりに生かされたスローソサエティの実現」をスローガンに社団法人日本青年会議所の会頭を務める。「100万人のキャンドルナイト」呼びかけ人代表、NPO研修・情報センター「協働コーディネーター養成講座」上級修了、姫路駅北駅前広場整備推進会議委員、姫路市市民活動・協働推進事業計画検討懇話会委員、「官民連携のための実践型まちづくり人材養成講座とネットワーク」協働事業などを経て、現在はJR姫路駅前広場及びまちなか公共空間の管理、運営をマネジメントする「一般社団法人ひとネットワークひめじ」の理事を務める。姫路市立美術館友の会 会長、姫路城西側エリアのみらい構想策定プロジェクト「城の西エリアマネジメント」準備会の代表世話人。

● コロナウイルス感染予防対策

- ・ 会場ではマスクの着用、検温や手指の消毒にご協力ください。
- ・ 事前にご自宅で下部の用紙に、お名前お電話番号ご住所をご記入して受付に お渡しください。
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をご利用ください



● 感染拡大防止対策として、以下の方はご来館をお控えください。

- ・ 37.5℃以上もしくは平熱より1.0℃以上の発熱がある方
- ・ 咳やのどの痛み、呼吸困難、味覚障害などの自覚症状がみられる方
- ・ 過去1週間以内に感染拡大している外国への渡航歴がある方
- ・ 過去1週間以内に感染者と濃厚接触がある、もしくは可能性がある方
- ・ 同居家族や身近な知人に、感染が疑われる方がいる場合

お申し込み用紙

キリトリ線

お名前	〒	お電話	年	性
ご住所	□□□□□□□□	— —	才	別 男・女

※表面のHP・メールからお申し込みいただけます。 ※この申込用紙からも申し込みます。切り取り線で切って、当日会場にお持ち下さい。(要 電話予約)